

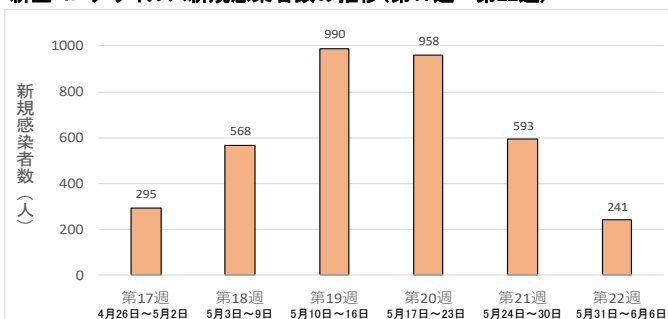
■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第22週に、241件の新規感染者の報告がありました。4月下旬以降急速に感染が拡大し、その後、5月下旬から減少傾向となっていますが、未だに高い水準です。

引き続き、外出の半減、他地域への往来自粛、同居家族以外との食事の自粛など感染防止対策を徹底しましょう。また、喉の痛みなど軽い症状でも医療機関を受診しましょう。

新型コロナウイルス新規感染者数の推移(第17週～第22週)



2 RSウイルス感染症

定点当たり1.83人の報告があり、第19週以降急増しています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

3 咽頭結膜熱

定点当たり0.71人の報告があり、増加しています。咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、いわゆる「夏かぜ」の一種です。5～7日の潜伏期間の後、発熱、喉の痛み、結膜炎などの症状が出現します。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.04		小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.28	
小児科	咽頭結膜熱	17	0.71	0.62	↑	小児科	RSウイルス感染症	44	1.83	0.17	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	2.61	↔		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	132	5.50	6.06	↔	眼科	流行性角結膜炎	-	-	0.64	
	水痘	3	0.13	0.26			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	1.76		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.23			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	12	0.50	0.51			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	-	-	0.87			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	45	70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	10歳未満・O26
4	レジオネラ症	1	14	50歳代
5	ウイルス性肝炎	1	3	40歳代・B型
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	2	70歳代
5	梅毒	2	26	20歳代・2人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	6	80歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ 球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(感染性 胃腸炎 (ロタウ イルス)
報告 数	広島市	第18週	-	8	5	110	5	1	-	7	-	1	3	-	5	-	-	-	-	-
		第19週	-	14	12	168	2	-	-	10	-	-	15	1	2	-	-	-	-	-
		第20週	-	11	11	162	3	1	-	8	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-
		第21週	-	4	17	156	6	-	1	8	-	1	22	-	1	-	-	-	-	-
		第22週	-	17	12	132	3	2	-	12	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-
定 点 当 た り	広島市	第18週	-	0.33	0.21	4.58	0.21	0.04	-	0.29	-	0.04	0.13	-	0.63	-	-	-	-	-
		第19週	-	0.58	0.50	7.00	0.08	-	-	0.42	-	-	0.63	0.13	0.25	-	-	-	-	-
		第20週	-	0.46	0.46	6.75	0.13	0.04	-	0.33	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
		第21週	-	0.17	0.71	6.50	0.25	-	0.04	0.33	-	0.04	0.92	-	0.13	-	-	-	-	-
		第22週	-	0.71	0.50	5.50	0.13	0.08	-	0.50	-	0.04	1.83	-	-	-	-	-	-	-
	全国	第20週	-	0.29	0.64	3.79	0.12	0.08	0.02	0.45	0.07	0.05	1.82	0.01	0.21	0.02	0.03	0.03	-	0.01
		第21週	-	0.38	0.65	3.75	0.13	0.07	0.02	0.45	0.10	0.06	2.49	-	0.23	0.03	0.02	0.02	-	-

■ 広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第22週(5月31日～6月6日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
17	18	34	38	35	29	26	24	20	-	241

【累計報告数(6月6日現在)】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
262	510	1,718	1,100	1,104	960	642	552	442	67	7,357

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ
「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】国内で接種できる新型コロナウイルスワクチン

現在、国内で接種できるワクチンは、ファイザー社とモデルナ社のワクチンです。どちらも、2回接種で、初回と同じワクチンを使用する必要があります。

重症化を防いだり、発熱やせきなどの症状が出ること(発症)を防ぐ効果があり、接種することにより、重症者や死亡者が減ることが期待されています。

一方で、ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。ワクチン接種後も、引き続き3密の回避、マスクの着用、手洗いなどの感染予防対策を心がけましょう。

【参考】

厚生労働省: コロナワクチナビ

<https://v-sys.mhlw.go.jp/about/>

厚生労働省: ファイザー社の新型コロナワクチンについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_pfizer.html

厚生労働省: 武田/モデルナ社の新型コロナワクチンについて

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_moderna.html

	ファイザー社	武田/モデルナ社
ワクチンの種類	mRNAワクチン	
接種対象者	12歳以上	18歳以上
接種方法	筋肉注射	
接種回数	2回接種	
接種間隔	3週間	4週間
発症予防効果	約95%	約94%

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp